

# 共生力

HP: <http://ajciee.or.jp/>

Tel : 055-269-6533 Fax: 055-269-6534

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-32-16

甲府丸の内マンション 302

発行人：黒田文男

## 第2回日中教育文化交流シンポジウム開催

輿石顧問が講演・日中の若者が意見発表



コーディネーター・パネラー・財団関係者記念写真

日本と中国の若者の意識に焦点を当て、両国の歴史性を踏まえた関係を考えていくシンポジウムとして、「第2回日中教育文化交流シンポジウム」を2月25日（土）日本教育会館で実施しました。中国からの留学生・日本の学生と教職員・財団関係者・マスコミ等約80名が参加しました。

今回はまず、協会顧問・前参議院副議長の輿石東先生に、「日中交流の意義」について講演をしていただきました。輿石先生は、1972年の日中国交正常化以降の大きな動きについて話されました。毛主席の「水を飲む人は井戸を掘った人を忘れてはならない」という言葉や、「21世紀における人類史的なパートナーとして強力に連携していく」という胡錦濤・小沢一郎会談の確認、そして、「第5回日中交流協議会」での王家瑞全国委員会副主席と輿石先生との約束についてなど話されました。日中国交正常化から45年、日中の交流の広がり、とりわけ青年の交流の無限の可能性について話され、日中教育文化交流シンポジウム等の協会の取り組みについて評価され、また期待を述べられました。



輿石顧問による講演の様子

パネルディスカッションは、日中交流研究所所長の段躍中氏がコーディネーターになり、中国の若者（日本語作文コンクール受賞者）3名と日本の若者（大学生）2名、在日本中国人の若者（高校生）1名の計6名のパネラーで行いました。まず白さんから、コンクールの最優秀賞作品「二人の先生の笑顔が私に大切なことを教えてくれた」の発表がありました。その後、パネラー一人一人が、「今日本人について感じていること、思っていること、伝えたいこと」を、発表してくれました。白さんは、「生の日本人と触れ合えば、その素晴らしさが理解できると思う」「日本のいいところを、中国のみんなに伝える役割をしていきたい」と熱く語ってくれました。閻さんは、「日本の高等教育の素晴らしさに驚かされた」「日本の先生は素晴らしい、やさしさと厳しさを持っていて、一人一人の学生に寄り添い、人としてのつながりを大切してくれる」と、感想を話してくれました。趙さんは、「日本に来て日本人の親切さに感心させられた」しかし、「日中関係は冬の時代だ」「でも、春は必ずやってくる」「中国からの留学生を応援して欲しい、温かく見守って欲しい」と、呼び掛けました。高橋さんは、「北京大学へ留学した時、インターンシップでCRJ（中国国際放送局）の日本語放送（ラジオ放送）を担当した」「CRJの番組作りの中で、日中関係の改善について取り組んでいた」という驚きを話してくれました。



パネルディスカッションの様子

青山さんは、「世界が自己中心主義的になってきてる」「根本にはナショナリズムがある」「烈士という概念を批判するところから試み、それに翻弄されない新たな歴史観や交流を生み出したい」と話されました。段エディさんは、留学経験を通して感じた

国際理解・交流について、「フェイス・ツー・フェイス」「人と人が会うことで友好関係が出来る」「国と国、人と人をつなぐ世界の架け橋になりたい」と話してくれました。

シンポジウムのまとめを、前参議委員議員の水岡俊一先生にしていただきました。「発言内容が素晴らしい。パネリスト一人一人が、バイタリティーを持っている。着眼点の鋭さ、また、中国の若者の語学能力の高さ、本当に驚かされた。パネリスト達のチャレンジャーとしての多くの目に、大いに期待したいと思う。『人と人の交流を大切にしたい。メディアが世界を変えていく。フェイス・ツー・フェイス』そんな一つ一つの貴重な発言・意見が、ものすごく重く、感じられ考えさせられた。こんな人たちが、将来の中国と日本の関係を創ってくれるのだと心から感じた。」「一緒に頑張って取り組んでいきましょう。」との、力強い講評をいただきました。

## 日本語作文コンクール最優秀賞受賞者白宇さんが「東アジア教育文化交流協会」の輿石先生・水岡先生を表敬訪問

当協会も協力（審査・教育賞授与）して開催された、2016年度第12回日本語作文コンクール（日本僑報社・日中交流研究所主催、在中国日本大使館など後援）には、中国の各省市区の189校から5190編の応募がありました。最優秀賞・日本大使賞（日本に一週間招待）には、白宇さん（蘭州理工大学）の「二人の先生の笑顔が私に大切なことを教えてくれた」が選ばされました。白宇さんは、2月25日（土）に、当協会の顧問・前参議院副議長輿石 東先生と前参議院議員水岡俊一先生を、日本教育会館内の「東アジア教育文化交流協会」の事務所に表敬訪問しました。輿石先生からは、日中交流に関する貴重なお話を沢山伺うことが出来ました。



東アジア教育文化交流協会の事務所での様子

## ～ホームステイ参加者も進学～ 「フジ国際語学院卒業式」

3月2日（木）、フジ国際語学院（山中小白代表＝財団評議員）の卒業式が行われました。1100名を超える卒業生は、今年も東京大学・早稲田大学・東京工業大学などの国公私立大学に進学しました。

フジ国際語学院は1989年の創建で、中国等からの留学生を対象に、「学生が希望する日本の大

学・大学院への進学」と、「日中友好の推進力となる人材の育成」を教育方針として、日本語教育、基礎科目教育の徹底指導に取り組んでいます。現在三つのキャンパスに、教職員200名以上、学生在籍者約2000名以上という規模で運営されています。

卒業式は、担任による卒業生の呼名、代表者への証書の授与の流れの中で、先生方と学生達とが喜びの交歓に包まれる素晴らしいものでした。一昨年に教育交流ホームステイ in 山梨に参加した学生たちもそれぞれ志望校に進学しました。ホームステイでの体験を、きっと今後の学生生活の中で生かしてくれると思います。



卒業証書授与式の様子

## 第29回理事会・第15回評議員会で来年度事業計画・予算が決まりました

3月14日(火)に、財団の第29回理事会と第15回評議員会が、日本教育会館8階808会議室で時間を前後して開かれました。理事・監事・顧問、役員・評議員の出席を得て、2017年度事業計画（山東省泰安市東平県への教育支援・第4次宋慶齡基金会訪日代表団受入・ホームステイ事業・シンポジウム開催等）並びに2017年度予算（総額10,361,000円）が慎重審議の後に、可決されました。



教育会館会議室での第29回理事会の様子

### 2017（平成29）年度の取り組み予定

- 8月 第6回教育交流ホームステイ
  - 9月 第13回中国人の日本語作文コンクール
  - 10月 第4次宋慶齡基金会訪日代表団  
第2回日中音楽教育交流会
  - 2月 第3回日中教育文化交流シンポジウム
- ※ホームステイ・音楽教育交流会・シンポジウムにつきましては、広く呼び掛けて行いますので、協会へご連絡の上、ふるってご参加をよろしくお願いします。